

令和5年
1月号
通巻第41号

塩釜シルバーだより

発行

公益社団法人塩釜市
シルバー人材センター

塩竈市尾島町18-17
☎ 022-367-5940

迎春

令和5年 元旦

曇り後 晴れ

新事務局長に 佐藤勝美氏



理事長 引地 榮五

月見小4班

新年明けましておめでとうございます。

新しい年令和5年を迎える事が出来ました事に感謝したいと思います。

さて、令和4年は問題の多い一年でした。業務係長の菅野君が2月で退任しました。業務と云う部門は非常に幅の広い職種であり、職員不足の中で業務をどの様に分担すべきか検討を重ねましたが、職員の重圧は増すばかりでした。

早速「ハローワーク」に求人のお要請をして4月から入社した方(21歳)に期待したのですが体調が思わしくなく入社2ヶ月で退社してもらうことになったのであります。

次に7月より入社した方(40代)は入社早々から「自分の意に添わない」と苦情が多くこれでは組織が乱れてしまうと考え2ヶ月で退社してもらいました。人を雇うという事は本当に難しい事とつくづく思った次第です。

その様な中5月より佐藤勝美氏が新会員として入会しました。以前より「行政に携わっていた方に来て欲しい。」という願望がありましたが佐藤勝美氏は永年に渡り塩竈市役所において、幅広く経理・総務の仕事に携わってきた方であり、豊富な経験を生かしてもらい週に数日の勤務をしてもらっておりましたが、7月に入りどうも菊田局長の病状が長期化しそうだという事から再三に渡り理事会を開き今後のセンターとしてのあり方を検討しました。その後菊田局長より「病状

が長引くとセンターに迷惑を掛ける事になる為退職したい」との申し出がありました。局長不在のままでは、センターとしての機能が麻痺してしまうという結論になった事から、理事会の理事でもあり塩竈市福祉子ども未来部の草野部長、中村課長とも相談した結果佐藤勝美氏を局長代行として無理にお願い致しました。その後「(公社)宮城県シルバー人材センター連合会」の理事会に出席した折、連合会白川会長、岩淵専務理事からも心配をして戴き組織が明確でないと問題が生じるので、局長代行ではなく正式に局長とした方がよいのではないかとアドバイスをもらい10月下旬に佐藤勝美氏の了解の元、局長として就任してもらったのであります。もちろん理事会において理事・監事の皆さんからも満場一致で承認をいただき、女性職員の方からも歓迎されました。

今後は新局長を中心として一から体制を造り上げる事が急務と考えております。人生百年時代年齢にかかわらず、誰もが能力を発揮し活躍できる社会の実現に向け「シルバー人材センター」が果たすべき役割の重要性が増しております。その為にも会員数の拡大が重要です。コロナ禍の影響から抜け出せず入会者があまり延びていません。皆様からのご紹介を切にお願いいたします。

「仙台育英学園高等学校」が全国制覇を果たし深紅の大優勝旗が初めて白河の関を超えるという明るい話題がありました。(次頁へ)

宮城県のみならず東北にとって百年来の夢であり大きな勇気と希望を与えられた出来事でした。厳しい環境下でも皆様と共に「安全第一」「共

存」「共助」「仕事をすれば元気になる」精心の元今年もご指導ご協力を切に申し上げますと共に、皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。



事務局長就任あいさつ

新事務局長 佐藤 勝美
月見小4班

10月より事務局長に就任いたしました佐藤勝美です。今回、センター勤務が半年もたたないのに事務局長に就任し、この年齢での大役に大変な不安を感じています。

当初、水道部と市立病院での経理係長や市全体の行政事務を管理監督する監査事務局長としての経験を活かし経理業務のお手伝いに週2回の約束で入社しましたが、前局長の病休などもあり週3、4回と増え、最終的に事務局長まで引き受けざるを得ないこととなりました。

まだ、経理以外の業務には不安な面も多々あり

ますが、職員一同の協力を得ながら進めてまいりますので、皆様からのご協力もよろしくお願い致します。

また、早く会員皆様の名前を覚えたいと考えておりますが、職員が少ない中で請負現場に行く機会も少なく、会員の皆様の名前を覚える機会も少ないことから、事務所に来た時には会員の皆様からのお声がけをお待ちしております。

今後、事務局長としてセンターの発展に努力してまいりますので、会員皆様からの今以上のご協力を何卒よろしくお願い致します。



前事務局長退職あいさつ

前事務局長 菊田 芳弘

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が発生してから丸3年にして未だ収束の兆しが見えてきませんが、今年こそよい年でありますようお祈りいたします。

さて、日頃より皆様には塩釜市シルバー人材センターの運営等につきまして、多大なるご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

突然ではございますが、私事で、令和4年11月25日付けで退職させていただくことになりました。

令和4年7月5日に頭痛、目眩が酷く病院にて精密検査の結果、脳内両側慢性硬膜下血腫と診断され治療を続けて参りました。幸い障害や生命には別状なく8月30日で完治いたしました。約2ヶ月間の薬服用治療などを継続しており、未だ頭痛及び体力的部分の体調不良が続いており、主

治医や家族と相談をして、私自身も悩んだ結果退職させて頂くことにいたしました。

平成3年4月23日(23歳)に入社して31年7ヶ月(54歳)まで勤務させて頂きました。

すでにお辞めになった会員を含む全ての会員、役職員、塩竈市を含めて各センター及び各関係機関、塩竈市民皆様のご協力を頂きここまで頑張ってくることができましたことを心より感謝申し上げます。

シルバー人材センターの理念「自主・自立・共働・共助」「安全はすべてに優先する」を基本として今後の塩釜シルバー人材センターの発展と皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

最後に、色々な思い出が沢山ありましたが私は塩釜市シルバー人材センターが大好きでした。

永年に亘り大変お世話になりましたこと改めてありがとうございました。



ごあいさつ

「健康で生きがいのある暮らし・・・
・・・生き生きと過ごせるまちづくり」

塩釜市長 佐藤光樹

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、本市の行政運営に対し特段のご理解
とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

塩釜市シルバー人材センターにおかれまして
は、昭和57年の設立以来、40年の長きにわたり
高齢者への就労機会の提供や社会参加の促進
などを通じ、生きがいづくりと地域社会の活性化
に貢献されておられます。引地理事長をはじめ、
役員並びに会員の皆様方のご努力と日々の
活動に対し、深く敬意を表する次第でございます。

本市におきましても、公共施設の管理業務を
はじめ、毎年数多くの業務に携わっていただい
ております。この場をお借りして、深く感謝申
し上げます。

さて、社会を展望いたしますと、新型コロナウ
イルス感染症の蔓延が世界中に暗い影を落と
す中、日本人の平均寿命は男性が81.47歳、女
性が87.57歳と、日本は世界でもトップクラス
の長寿社会になっております。また、本市に目
を向けますと高齢化率が34.5%に達し、3人に
1人は65歳以上という状況であります。70歳で
「古来稀なり」と言われた時代もはるか昔の話

となっており、皆様には引き続き、人生の先輩
として、また地域社会の担い手として積極的に
社会に参加していただきたいと考えておりま
す。

本市では昨年4月から、目指す都市像を「海
と社に育まれる 楽しい塩釜」とし、市政運営
の基本計画である第6次塩釜市長期総合計画を
スタートいたしました。本計画ではまちづくり
の目標の一つとして「健康で生きがいのある暮
らしや、地域と協働した支え合いを充実させ、
高齢になっても住み慣れた場所で生き生きと過
ごせるまちづくり」を掲げております。高齢者
が知識や経験を生かし、担い手として地域社会
に参画できる環境をつくり、生きがいの創出に
努めてまいりますので、皆様におかれまして
も、就業機会を得るといふことにとどまらず、
多様な担い手の共同による活力ある社会を創り
上げていくという思いで活動に取り組んでいた
だければ幸いです。

結びになりますが、塩釜市シルバー人材セン
ターの益々のご発展と、皆様の一年がより良き
ものとなりますよう心よりご祈念申し上げます。
新年のご挨拶とさせていただきます。





謹賀新年

役員

○ 理事長

引地 榮五 (月見小4班)

○ 副理事長

和賀 正志 (杉小2班)

○ 理事

木村 幸子 (杉小2班)

○ 理事

原田 益子 (月見小1班)

○ 理事

草野 弘一

(塩竈市子ども未来部部长)

○ 理事(事務局長)

佐藤 勝美 (月見小4班)

○ 監事

小松 幸雄 (二小1班)

○ 監事

氣仙 叶 (三小2班)

班長、お世話役の皆様 今年もよろしくお世話のほど お願い申し上げます

- 一 小1班 長瀬 洋 様
- 一 小2班 佐藤敏夫 様
- 一 小3班 伊藤新之助 様
- 二 小1班 渡邊 勲 様
- 二 小2班 高山勝道 様
- 二 小3班 小野武彦 様
- 二 小4班 佐藤清一 様
- 二 小5班 相澤 寛 様
- 二 小6班 安川 久 様
- 二 小7班 木村源一 様
- 三 小1班 高橋和弥 様
- 三 小2班 氣仙 叶 様
- 三 小3班 野村竹市 様
- 三 小4班 菊地文志 様
- 月見小1班 原田益子 様
- 月見小2班 佐藤 清 様
- 月見小3班 鈴木文夫 様
- 月見小4班 佐藤勝美 様
- 月見小5班 高橋一夫 様
- 杉小1班 松本正明 様
- 杉小2班 大沢雅信 様
- 杉小3班 小野健蔵 様
- 玉小1班 鈴木盛雄 様
- 玉小2班 鈴木英治 様
- 玉小3班 森勝男 様

賛助会員の皆様 本年もよろしくご支援のほど お願い申し上げます

- ホテルグランドパレス塩釜 様
塩竈市尾島町3番5号
- 東日本自動車学校 様
塩竈市月見ヶ丘6番7号
- 有限会社渋谷清掃 様
塩竈市清水沢4丁目31番3号
- 有限会社
宮城リサイクルセンター 様
塩竈市港町一丁目7番1号
- 株式会社今野モーターズ 様
塩竈市牛生町12番15号
- 遠藤株式会社 様
塩竈市花立町16番12号
- 株式会社高山 様
塩竈市尾島町10番18号
- 進々堂商光株式会社 様
仙台市宮城野区白鳥二丁目2番18号

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。
令和5年 迎春



パート職員
渡部 恵子

パート職員
櫻井 愛

主事・経理担当
鈴木 亜希子

主事
増山 あさみ

事務局長
佐藤 勝美

受諾事業職群

A 技術群 保守点検等

B 技能群 襖・障子・網戸・大工

C 事務整理群 調理補助等

D 管理群 筆耕・一般事務等

E 折衝外交群 施設・駐車場等管理

F 軽作業群 配達

G サービス群 除草 残材運搬処理

H その他 ハウスクリーニング

墓清掃

その他雑務等

家事援助・訪問型B

独自事業(手芸等)

※ いろいろな仕事がある

皆さんをお待ちしております。

どうぞお気軽に

事務所へお越しください。

事務局より会員の皆さんへのお願い

なかなか自分に合った仕事の紹介がない。自分はこんな仕事ができるのにと思っている方もいらっしゃると思います。事務局では、多くの会員さんに就業の機会をとっておりますが、すべての会員さんの状況を常に把握することはなかなか難しく、ご迷惑をおかけしている状況です。

事務局は最小の人数で仕事に当たっているため、いつも十分な対応が出来るわけではありませんが、たまには事務所においでいただきお話しを聞かせていただければ就業の機会も出てきます。お気軽にお声をかけていただければと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

どうぞお気軽にお越しください。お待ちしております！



海鮮せんべい塩竈7周年祭

美味しさと楽しさのテーマパーク

店舗スタッフ 寒河江 志保

公益社団法人塩釜市シルバー人材センター様、会員の皆様には常日頃から大変お世話になっております。

海鮮せんべい塩竈・・・皆さんご存知でしょうか？2015年10月に塩竈市新浜町にオープン、海鮮せんべいを製造販売、地域密着型のおせんべい屋になります。

オープンのきっかけは2011年の東日本大震災で当社の本社があります愛知県碧南市の方々や従業員が東北の震災復興にあたり、さらに塩竈市、碧南市が防災協定を結び本社では原料を三陸産を使用していることもあり第二の工場としてオープンした経緯となります。

私も震災を経験した一人として、風化させてはならないあの日の思いを、この塩竈から発信していきたいと思いオープンから働かせていただいていることに感謝、一期一会を大事につねにお客様とのふれあいをこの塩竈の地で感じ日々販売していくことに幸せをまた感じております。

塩釜市シルバー人材センターの方々との関わりは東北工場での製造に従事いただいたことを

きっかけに、年3回の3大イベントを開催するうえで駐車場整理を依頼したことからでした。

おかげさまで今年10月に7周年祭を開催。連日1000人を超える来場者の駐車場整理を依頼しどんな状況にもかかわらずスタッフの一員として終始笑顔で車の誘導をしていただきました。

その中で私自身感じたこと、生意気な言葉になるでしょうか・・・？

シルバー人材センターの方々の働く姿はシルバー人材センター様の理念、共働・共助そのものであり、人生の諸先輩方としてお手本であり働くことの楽しさを教えていただきました。

地域密着型を目指す海鮮せんべい塩竈ではこのイベントに地域の方々とお仕事ができることはまさに理想的な一歩であり、人の輪が広がる一歩と感じると共に、当社の製販一体の姿と皆さまとの関わる姿で終わりのない絆物語ができることと思います。

今後とも、塩竈＝海鮮せんべい塩竈を応援していただきたいと思っております。

結びになりますが塩釜市シルバー人材センター様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。



「海鮮せんべい塩竈」の向い側は風光明媚な塩竈湾(船溜まり場)

第75回

塩竈市美術展

「塩竈市美術展」が、昨年11月8日～13日に塩竈市公民館・ふれあいエスプ塩竈で開催されました。

加藤さんは書道の部に出展され、見事「塩竈市美術展賞」に選ばれました。

加藤健さんは、7歳から書道を始め、今日まで努力精進してきました。現在は「東北書道」に籍を置き、更に高嶺を目指して研鑽しております。

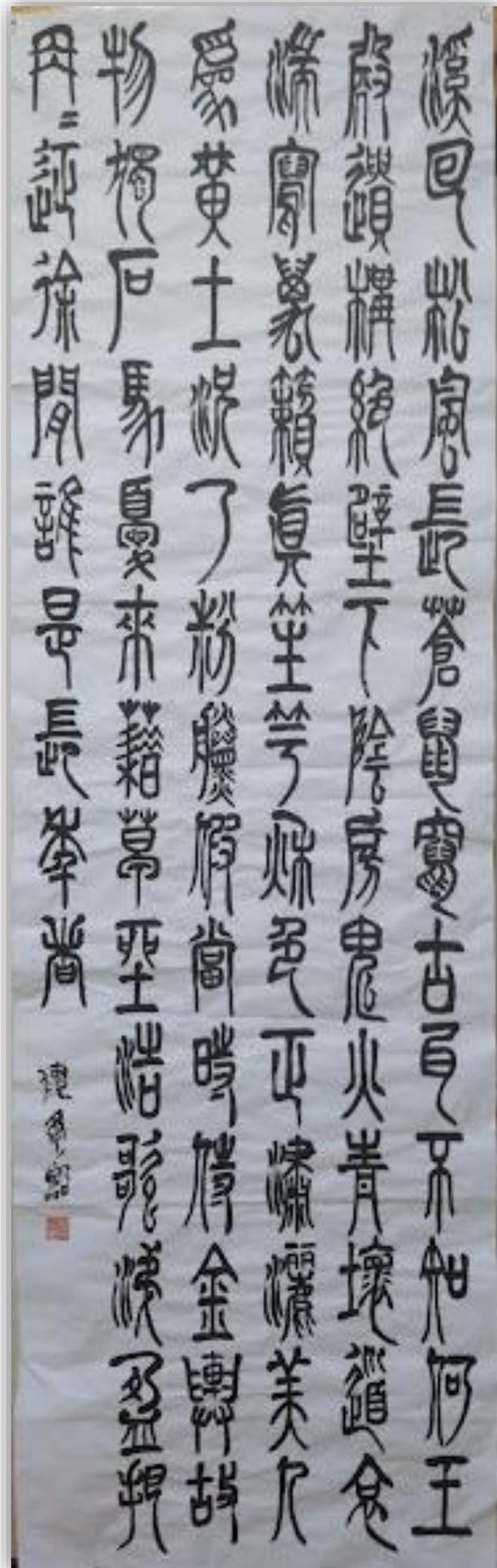
作品「玉花宮」は塩竈市美術展入賞作品です。

書き上げるのに4時間要したそうです。

加藤さんの精神力そして集中心・探求心には頭が下がります。書道を習ってみたい方、書道に関心をお持ちの方は、是非「塩竈市書道同好会」に入会してください。

入会ご希望の方は、加藤さんまでお申し込みください。

加藤 健
 ☎ 367-5058



玉花宮 (隸書体 説古文)

加藤健峰 (加藤健 杉小3班)



シルバー人材センターで25年間の思い出

歳女

二小4班 野田吉子

私がシルバー人材センターに入会したのは確か平成9年だったと思います。

かれこれ4分の1世紀お世話になっています。いろいろな仕事をさせていただきました。

サークル活動や旅行会にも参加し楽しい思い出がいっぱいあります。沢山の方々のお世話になりました。過ぎし昔を思い出してみました。

初めての仕事は、一般家庭の掃除を会員二人で行いました。その後漁連で働きました。魚を入れる「かご」や「パン」を洗い、魚を流すコンベアーの所に届ける仕事でした。

平成9年12月5日から塩釜商工会議所の清掃作業に就業することが決定しました。当初午前8時30分から2時間程度でしたが、だんだん長くなり午前中働くようになりました。1階から3階まで使用したホールのあと片付けをしました。職員の皆様には、いろいろ助けてもらい、迷惑もかけましたが、とても親切にいただき感謝しております。

仕事だけではなく、サークル活動にも積極的に参加しました。「カラオケ=エコーズ」の旅行も楽しい思い出がたくさんあります。絵手紙教室にも参加しました。「友の会秋の旅行会」にもたびたび参加しましたが、一番の楽しい思い出は宴会でした。私はカラオケサークルの会長さんと「麦畑」を歌って踊って楽しかったことが今でも忘れることができません。

よしこの塩竈にも参加しましたが、これも楽しかったです。

土日の休みに、たまに塩竈神社の仕事が入りました。出来上がった料理を大広間に運んで・お膳に並べたり・洗ったり・拭いたり・片付けたり、とにかく夢中で一生懸命働きました。

仕事・サークル活動・旅行会の全ては、私のシルバー人材センター会員として過ごした25年間の楽しい一生の思い出となりました。

新型コロナウイルス感染症が発症してから丸3年になります。一日も早く収束して以前のように皆さんとカラオケを歌ったり、旅行して賑やかな宴会が出来るような日が来ることを願っております。

コロナの1日も早い収束を祈っています。

今年こそ良い年でありますように！



懐かしい方々ばかりです。とっても楽しかった思い出です！



鹽竈神社縄なえ・しめ縄造り15年

三小3班 棚 緒 美智子
棚 緒 昭 次

今、私と主人他総勢6人、交替で神社のおしめ縄造りに励んでいます。

四季桜と紅葉とがとても美しい鹽竈神社です。仕事場の暖房は昔ながらのストーブ、薪を炊いてとてもほのぼのした暖かさです。10月下旬より12月中半には大きなしめ縄が出来あがりません。たずさわる前はどやうやって造るのか思ってもみませんでした。何しろ藁一本ずつ節を抜く事から始まる手のかかる仕事です。しかし参拝者の方々が一年間も手を合わせてくれる大切なものです。心を込めて感謝しながら造らせていただく事は言うまでもありません。途中で指にひびも入り血も出ます。

私はシルバーに入会当時から現在までしめ縄づくりに就き15年にもなります。まさかこの年になっても使っていただけとは思いませんでした。これも鹽竈神社の職員さん達のあたたかい励ましと助けを得たからこそ出来るものです。

人生百年時代だからこそ我々80才過ぎても頑張らなければいけません。藁は今は田んぼでみな粉々に刻まれます。長いまま使うものは特別手刈りしなければなりません。御神田の田んぼからもいただく。農家の人に頼んで天日干し、たくさんの人達の助けを借りて鹽竈神社のおしめ縄が出来ております。どうぞ皆様参拝される事がありましたらそんな苦勞があり出来ていると言う事を感じながら手を合わせていただけたら幸いです。

しめ縄造りが終わりになる頃鹽竈神社の回りは満開になり、その後冬の間じっと耐えて又春に咲いてくれる四季桜もたいしたもの。出勤前その桜の花にも応援してもらっています。年に2回も咲いてくれる桜、私たちシルバーさんも四季桜のように姥桜になっても百歳めざして頑張りましょう。

そういう意気込みが大事な事だと思います。

※ 棚緒夫妻、鈴木夫妻、鈴木文夫・小畑みえ以上6名は鹽竈神社の縄なえ・しめ縄造りに長年就労しています。

太田・芳賀・角田の3名は、鹽竈神社境内全般の環境整備に周年就労しています。

※鹽竈神社の”しめ縄”がシルバー人材センター会員により造られていることに今更ながら感動しました。

神社苑丁「高橋さん」の元に、6人の専従会員と神社境内全般の環境整備に当たる会員3人、神社職員総勢11名が連携してしめ縄造りに当たる姿に接し、日本の伝統文化を継承する大切さを感じました。



一小2班 鈴木宣正 鈴木篤子



月小見3班 鈴木文夫 小畑みえ



三小1班 太田 功夫



一小3班 芳賀清春



一小3班 角田米子

神社常駐会員



阿部祐一さん

神社職員



高橋 賢(さかし)さん

志波彦神社・鹽竈神社
総務部管理課 主任・苑丁



シルバーの皆さんに見せていただいた姿

「〇〇しよう！」

柴田小学校校長 谷内幸絵

平成30年から3年間、塩竈市立玉川小学校で勤務させていただきました。教頭ということで、地域の方々と触れ合う機会が多くありました。

その時出会ったのが、安全ボランティアをして下さっていたシルバーの方々でした。雨の日も雪の日も変わらず、毎朝子供たちの安全を見守っていただき本当にありがたかったです。

そのような関わりから、シルバーさんとは何度かお会いする機会があったのですが、さらにお顔を合わせる機会が増えたのは、元号が平成から令和に変わる頃のことです。新型コロナウイルスという脅威に見舞われ、学校ではシルバーさんに消毒作業をお願いすることになりました。そんななか顔馴染みのシルバーさんたちがおりました。

安全ボランティアに続き、この仕事も大変なものです。冬でも汗だくになるような重労働です。それでもシルバーの皆さんはいつも笑顔で楽し

そうに仕事をしておりました。

そしてさらに、シルバーさんにはもう一つの顔があり、玉小の読み聞かせボランティアとして活躍していました。職業人としての任務を全うし、引退後も自分が出来ることや挑戦したいことに果敢に取り組み続ける姿は、次の世代の私たちが見習うべき姿だと思います。

いつか長男に、「〇〇しなきゃいけないなあ」とつぶやいたとき、『「〇〇しなければいけない」と義務のように後ろ向きに考えるのではなく、「〇〇しよう」と前向きに考えた方がいいんだよ』と言われたことがあります。

シルバーの皆さんに見せていただいた姿は、まさに、「〇〇しよう」という前向きな姿に他なりません。

シルバーの皆さんがますます元気で活躍されることを願っています。



市内小中学校・新型コロナウイルス感染症対策清掃業務：令和2年6月 於玉川小学校



長寿への生き方を学ぶ

玉小1班 水沼淳二

手元に河北新報昭和32年12月22日付の一部があります。購読者等から募集した小説が掲載される「河北よみもの文芸」の欄。これを読みたくて記念日新聞として取り寄せました。

この日の入選作品は柳澤澄子さんの「タキの貯金」。内容は『魚の加工場で働く主人公タキは貯金を何よりも楽しみにし、ついに10万円を貯めます。しかし、娘の結婚式の日取りも決まりある程度の式を挙げさせるのには、自分の貯金を使わざるを得ないと考えると、せつかく貯めたのに惜しい。

貧しい農家に生まれた自分は結婚どころではなく一生に一度の花嫁衣裳を着なかったことが悔やまれる。自分が出来なかったことを娘に実現させたい。これがタキの夢だったが、お金を貯める事だけに取りつかれて、娘の結婚に対する心のゆとりをなくしていた。』と、心の葛藤を描いています。

柳澤さんは私たちの町内に住み95歳になりますが、頭脳明晰で詩吟愛好会に席を置いて難解

な詩を吟じています。膝が痛むこと以外は体調に大きな問題はなく「詩吟が楽しみ、先生に会うのがうれしい、みんなの吟じるのを聞くことが参加の意義」と話しております。「タキの貯金」は柳澤さん29歳の作品でした。

この作品が入選した時「今の望みは新しい本を次々読んで行くこと。忘れられない本はパールバックの〈大地〉と堀辰雄の〈風たちぬ〉と、言います。

世が世であれば芥川賞や直木賞の候補作を執筆し、女流作家として塩竈市の文化発展に大きく寄与していたかもしれません。そんなことを考えると心がワクワクし気持ちも昂ります。

現代の長寿社会の中でも、特に柳澤さんのように生きていけることとは何か。考えられることは積極的な他人との対話の継続と、こよなく読書を愛して多くの本を読破、その延長線上に積極的な文章を書くという習慣が培われたこと。

体の衰えは如何ともしがたいが、心と頭の衰えは防げる技能を柳澤さんが示してくれた。……浅学非才の私が導き出した結論です。



私もシルバーの仲間入りしました

玉小1班 小幡尚志

昨年10月にシルバー人材センターに入会しました。会員の皆様と仲良くやっていきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願いいたします。

昭和34年10月10日生まれ、今年64歳になります。

昨年まで勤務していた会社とは全然仕事内容も時間帯も違いますが、慣れるまで頑張りますのでよろしくお願い致します。

趣味は麻雀でしたので、早速麻雀サークルに入会しました。



運と福と黒猫について

月見小3班 鈴木文夫

初めまして、シルバー3年生の鈴木文夫と申します。

現在駐車場の管理業務や季節ものの縄なえ等を行っております。「何か!」を書いてとの依頼を受け自己紹介でもと思いましたが、人生経験の豊富な皆様方にはつまらないと考え、我が家の飼い猫と相談し「運と福・・・」のお話をいたします。

多くの方は、「運や福」等と言っても関係ないとおっしゃいます。しかし、年の瀬、年末等になれば、やれ宝くじ・商店街の福引・クリスマス抽選や、果ては年賀状の当選商品と、いやおうなしに巻き込まれます。「運」とは、物事の成就の可否。

「福」とは、運の良し悪し、解りやすく例えれば某放送局の夕方に放送される「ハイアンドロー」の豪華賞品取得ゲームとなります。「運」があれば参加することができ、「福」があれば豪華賞品をもらうことができるのですが、なかなか上手いきません。

「運」も「福」も、まるでネコのように腕の中からスルリと逃げていきます。昔から「運」も「福」も逃げるらしく、日光東照宮の「鳴き龍」で有名な陽明門横の薬師堂で販売されている鳴き龍の鈴は、「運」が逃げ落ちないように鈴の下の裂け目の穴がありません。ちなみに、2017年日光開山1250年記念限定品のゴールド鈴は金運アップとの事です。(注:今は手に入らない?)。

さて、では黒猫は?。我が家の猫は「黒猫」です。雪の降る夜、子猫が勝手口でニャーと鳴いていたのを次女が拾いました。以来、この猫ちゃんは大変な苦勞の末、今現在の家主(つまり私)に面倒を見てもらう大変えらい立場になったわけですが、皆様は黒猫は運が良いか福があるか!どのように思いますか?。

一般的には日本では黒猫は邪気を払い災害を防ぐとされますがヨーロッパでは災いを招くと

されます。

某NHK放送局で放送されたのでご覧の方もいると思いますが、放送法に触れないよう紹介すると、かの文豪の「夏目漱石」宅には黒猫がおりました。大変な「福」の持ち主で文豪となれたのもこの猫様のおかげのようです。特に世話をしていた夫人は、この猫様があまりにも運を良くしてくれた「福ネコ」な為、この猫が亡くなった後も、飼い猫は特別に探して「黒猫」を飼い続けたとのこと。

では、どんなネコか?、夏目家の猫は「爪」まで黒い猫様ですムム・・・、では我が家の猫を見るとなんと「爪」まで黒いのです。しかし、全部の爪ではない「中吉か!」、体の色はお日様の下でよく見ると真っ黒ではなく茶色系の黒「小吉か!」が、尻尾が曲がりシッポなので福を落とさないネコかも!。

いろいろ考えてもらちがないので、わたしは猫に聞きました「君は福ネコですか、運はお持ちですか!」すると我が家の猫は「ニャーゴ」と返事をしました。

その時、私はハッと気が付きました。雪降る夜に我が家の勝手口でニャーと鳴いた事こそ「運と福の持ち主」な事と。

塩釜のシルバー会員皆さまにより良い日々が訪れますよう祈念し終わります。神社の縄なえをしながら腰が痛いけど、これもまた「運」と思い、日々仕事に努めている会員です。





70代になって思うこと

二小1班 渡部 恵子

若い頃には、自分が30代、40代になることは想像できても70代になることは全く想像できませんでした。毎日、時間に追われ気がつけば70才。身体の衰えを徐々に感じ、時々名前を忘れてたり、的はずれなことを言ったりおかしく笑えたりするが、それもまた一興と考えて、物にこだわらず心の内の満足感を求め生活していけたらいいと考えるようになりました。

シルバー人材センターに会員登録し、働くようになってから、若い頃に観たテレビドラマの事を思い出しました。

“働く”ということは人のために動くこと、人のために自分の時間を費やすこと、という言葉でした。

働けている今に感謝しつつ毎日を送っています。一生懸命働いているからこそ遊ぶことが楽しく感じられる。贅沢をしない生活をしているから美味しいものを食べると感激する。ささやかな感動、感激を積み重ね、楽しい毎日を送りたいと思います。

まだ身体も頭の中もなんとかかなりそうな、これからの何年間、大切な時間にしなくてはいけないと感じています。そのためには、自分の身体と心を労り、少しでも長い間健康でいられるよう努力しようと思います。

そして、会員の皆様との交流を増やし、充実した日々を送れるように頑張ります。

これからもよろしくお願い致します。



人生いろいろ = 悲しみを乗り越えて =

三小1班 山田 美津代

最近は特に季節の移ろいを足早に感じて過ごす日々です。ふり返りますと、シルバー会員スタートは平成25年7月でした。厳かな鹽竈神社の初仕事、正月用の鏡餅作り、お赤飯、おもてなし一式のお膳料理等々で大講堂いっぱいお客様を迎える大仕事にかかわれた何年間は私にとって先輩方に指導受けながらの楽しい貴重な宝物となっています。現在継続中の個人宅への訪問は少し体が不自由なため常に緊張感をもって気分良く接することを心掛けています。

子育て支援センターでの見守りの仕事、又病院の食器洗浄、マリゲートでイベントの手伝い、継続中の老人ホームの清掃作業、会社の清掃作業他。お陰様で年齢制限なく働く場所を多々提供して頂き、有難く感謝いっぱいです。

ここに至るまで私も人並みに人生いろいろの一つや二つありました。

あの時私の心は凍りつきました。二人で本塩釜駅から電車に飛び乗ったその後すぐ夫は喘息の発作がおき、すぐさま隣の西塩釜駅で降り、どなたかが呼んで下さった救急車で坂病院に収

容され、懸命の治療をしていただきましたが、9日後に帰らぬ人となりました。

そして2年半後に起きた東日本大震災、浸水でやむなく家屋の解体を決め、みなし仮設住宅へ。陽のあたらないアパート生活のさなか、東京で生活していた長男が腎臓癌にかかり、東京から名取がんセンターに転院して治療に努めましたが、あっという間に天国へ逝ってしまいました。

友人から「鴨長明」の言葉を頂きました。

『ゆく川の流れば絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人とすみかと、またかくのごとし。』

お陰様で今は陽のあたる復興住宅での生活に日々喜びを感じています。

尚去年はみなと祭りの開催でよしこの塩竈でみなさんと共に汗を流し最高の暑い夏を彩る楽しい一幕でした。

ご縁を頂き多種に渡るお仕事から気づきや喜びを受け取り学びの場となっています。職員の皆様にはその都度助けて頂き心より感謝申し上げます。これからもご指導お願いいたします。

ベトナムと塩釜をつないだオンライン

「鯖の塩焼き」おじいちゃん、これはなんて読むの？

＝宮城のおじいちゃんおばあちゃんと触れ合った技能実習生4名のその後＝



三嶋伸美さん



遠藤由美子さん

株式会社Work&Care

代表取締役 三嶋伸美

こころぼほ一むTownプロジェクトマネージャー 遠藤由美子

新年あけまして、おめでとうございます。

昨年の夏、こちら「シルバーだより」様にて、宮城県の地で、塩釜市シルバー人材センターの皆様と、4名のベトナム人介護技能実習生と共にスタートいたしました「こころぼほ一むTown」の取り組みをご紹介させていただきました。

私たちは、外国人介護実習生が日本の高齢者（おじいちゃんおばあちゃん先生）との交流を通して、単なる日本語学習ではなく、その土地の文化や暮らし方を体験すること、そして、介護施設で働き始めた後も、連絡を取り合い、サポートしてもらえる関係をつくること。それが、外国人介護実習生にとって重要なことです。

一方、そうした交流やサポートを通して、高齢者の方々にとっては、生きがいを感じてもらえる場になることと願っております。そこで、こころぼほ一むTownでは、「国を超えて、家族のように。」をテーマにし、入国前・入国後・実習中に3つのつながりの場を設けていきます。今回は、ひとつ目のつながりの場として、ベトナムと宮城県（塩竈・栗原）をつないだ「オンラインFamilyコール」を、木村様、小松ご夫妻様に先生になっていただき「方言、折り紙、郷土料理、季節行事・お祭り・介護の仕事」をテーマに実施した様子を紹介いたしました。参加した実習生からは、「自分の国、自分の家族と離れて寂しいですが、みんな居るからこそ、家族がいるように安心感を持たせてくれました。そのおかげで、安心できて、新しい生活を楽しく迎えられました。」「日本のこと、宮城県のこと、介護の仕事がどんどん好きになりました。」「方言は日本語をより豊かで面白くします。方言で話すと、より親しみやすく感じます。」「介

護の仕事はご利用者さんを家族の様に大事にすることです。」・など、たくさんコメントをいただきました。

その後、4名は無事に日本に入国し、宮城県へやってきてくれた際に行なった「ホームTownスティ」のイベントでは、オンラインで交流をもった木村様、小松ご夫妻様が、彼女たちを温かくお迎えくださいました。これから暮らす地域で、散策をしながら、町の文化に触れるため「塩竈神社」へお参りに行きました。その後、地域のスーパーマーケットに食材の買い物へ。塩釜公民館にて日本の手巻き寿司とベトナムのライスペーパーに巻いて食べる料理と一緒に作り、ランチを楽しみながら交流を図りました。

最後には、実習生が作った願いが叶うお守り「ミサンガ」を先生へお贈りいたしました。「なにか本当に、家族のようです。また会いたいです。」と口々に話していました。その場に参加させていただいた私たちもお別れの際には、とてもさみしかったことを覚えています。

そして、実習生が各施設での実習にてご活躍されている今、「元気にしていますか。」「困ったことはないですか。」とオンラインにて交流する「だいじょうぶコール」の機会を持つ予定です。その際の様子はまたの機会に、ご紹介させていただければ幸いです。（乞うご期待ください。）

4名の実習生にとりまして、木村様、小松ご夫妻様、塩釜市シルバー人材センターの皆様とのつながりは、かけがえのない宝物のような出会いとなっているものと思います。温かいお気持ちを、いつもありがとうございます。

今年もどうぞよろしく願いいたします。



思い出すまま 気をつくまま

市内佐浦町 中野正護

古来、成人・還暦等の節目が尊重されております。

私自身の人生で恐縮ですが、節目の一コマを振り返ってみたいと思います。

誰でも、第一の節目としては誕生(一年目に神事)。塩釜で出生し育つ。以後の経過省く。

第二の節目は、昭和19年4月学校入学。当時は太平洋戦争、戦時体制下の真っ只中、入学式は塩釜国民学校一年生教室(公民館本町分室)で行われ、既に本校は、陸軍(護仙部隊)兵舎に徴用されていた。戦後に聞いた話では本土決戦へ、兵備のためでした。

思い出しますと同教室から時に脇の道路を上がる兵隊さんの姿が見え、又、兵舎に向かう軍馬に跨り、軍刀を佩いた将校殿を目にしました。この年の12月29日早朝、宮城県内で初めて、塩釜へB29爆撃機空襲で焼夷弾投下による炎上、被災は建造物383戸延焼、死傷者13名、中心街は火の海、本町も燃え広がり、お釜神社の東側辺で火は下火となり、お釜様のお蔭だと皆さんが拝んだそうです。その頃は、私ら子供達は夜間には地元南町防空壕に居住まい、内部は寒く雨垂れを避け油紙を被って寝る常宿で、昼は小学生の寺子屋教室が、赤井銭湯の脱衣場に茶飲台を置き、先生は掛け持ちでした。

戦時中は食糧難、農家も戦地に送り、町はどん底生活に繋がり、米が底をついたときは、配給のコウリャン(代用米)、混ぜご飯(乾燥スカンポ・海藻等)を食べたことを今でも懐かしく、芋飴は最高の食べ物でした。詫びたいこと、よそ様の栗の木をゆすって落ちた栗を拾って食べました。すみませんでした。

次の節目は就職、高校卒業。

この年は新聞に“求職青年多し”といった記事が載るほどの就職難でした。誰でも受験可

能な試験を第二管区海上保安本部で受け2名合格し、舞鶴に在る海上保安学校に入校し、初任教育研修後、昭和31年10月、酒田海上保安部「巡視船とね」に配属され、船内居住半年、3食にベッド付、夜は当直先輩からの諸々の船内研修があり夜食も楽しみのひとつでした。

後に市内にて下宿し、酒田を勉強して楽しみました。

当時の巡視船の主な行動としては担任海域の巡視警戒・立入検査、海難救助等でした。

特異な業務は、津軽海峡浮遊機雷除去・監視等で、爆発も有り得るので緊迫。めずらしい海難は、同33年4月、酒田沖海域で突風荒天のため舵故障など13隻の同時海難で巡視船艇、陸上職員が救助したと。マスコミが大きく報道で、市民、漁協が大喝采。酒田海上保安部勤務は6年間、恙なく塩釜海上保安部に転任し船艇乗船勤務を終了し、陸上勤務となり、管理課・警救課と移り、浮草同様に管区本部の他、4部署を廻り塩釜で定年を迎えました。

海上保安庁の御旗「正義仁愛」のもと計42年間勤めました。

節目の最後、再就職は、任意団体の福利厚生部門営業所で、海上保安庁OBさんがお客様、収支はゼロの安定事業でした。

さて、世はコロナ終息を願い、物価は上昇し、年金は減額される。そして収入に限られる。高齢者は、人生の喜びを味わい、介護の不安を取り除き、生きがいのためにも、ほど良い収入とほど良い働きを望む方が多いはず。

シルバー人材センターの理念「共働・共助」は頼りであり、会員さんは定年退職後の充実したシニアライフのため働く意欲も高まり、日々充実した楽しい日々をお過ごしのことと推察しております。

配分金に消費税が入っていることをご存じでしたか？

係るインボイス制度はご存知ですか？

- ◇ 配分金は、請負契約に基づき働いた対価として支払われるお金です。
- ◇ 配分金は、所得税法上では雑所得として扱われます。
- ◇ 配分金には、内税として消費税が入っています。
- ◇ シルバー会員は、いわゆる個人事業主として仕事をしますので消費税納税義務者になります。しかしながら、消費税を納税する義務が発生するのは標準期間（2年前の1年間）における課税売上額（配分金の総額）が1,000万円以上の事業主ですので、課税売上額が1,000万円未満の事業主は納税義務が免除されます。
- ◇ シルバー会員に対する配分金については、消費税の納税義務のない免税事業者である会員に対しても、消費税を含めて支払われているので、免税事業者としての利益（益税）を享受していることとなります。

ここまでは、一般的な話ですが、2023年10月1日から「**適格請求書等保存方式(インボイス方式)**」が導入され、消費税の取扱いが変わります。

某センターの消費税額は、配分金が仕入税額控除の対象になるため、令和元年度は148,000円でしたが、インボイス制度が導入されると、配分金が消費税の仕入れ税額控除の対象にならないため、センターの消費税の納税額がいきなり増え、10,341,000円にもなります。

このことは、センターの経営に多大な影響を及ぼすこととなります。

端的に言いますと、免税事業者である皆さん会員から消費税分を徴収できませんので、10,341,000円を納めるための財源がないということです。

その財源確保をどうするか、現在、全国

のセンターが右往左往している状況です。

この降って湧いたような事件は、全国のセンターの重大な問題になっており、全国シルバー人材センター事業協議会（全シ協）においては会計・経理検討委員会が設置され対応策が練られているとともに、政府や国会議員連盟に対して制度緩和措置の要望等が進められております。

いずれにしましても、経過措置が設けられ関係法律による制度実施が進められている中、全シ協において懸命な対策が講じられていますので、一縷の望みであるシルバー人材センター（SC）が適格請求書等保存方式（インボイス方式）の対象から外され、現状の経理と運営の下、安定的な事業運営が可能となることを願っている次第です。

配分金に係る消費税の取扱いについて

現在、会員の皆さんが受け取っている「配分金」には、その配分金に係る消費税が含まれています。つまり、シルバー人材センターからは、消費税も含めて支払っているということになります。

本来、会員の皆さんは個人事業主として、受け取った配分金に係る消費税は税務署に申告納税する必要がありますが、消費税法上、課税売上と

して受け取る金額が、年間1,000万円以下であるため、ほとんどの会員の皆さんは免税事業者として取り扱われ、申告納税する必要がありません。

しかし、令和5年(2023年)10月より、消費税法改正で「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が導入され、配分金にかかる消費税についても取り扱いが変更されます。

消費税の制度が変わります

1 インボイス制度(適格請求書等保存方式)とは？

シルバー人材センターをご利用いただいた際の請求書には当然消費税が含まれています。

就業した会員に支払われる配分金にも消費税を含んで支払いをしています。

会員一人一人は年間課税売上高1,000万以下の小規模事業者(個人事業主)となります

ので、消費税の納税は免除になっています。

令和元年10月1日より消費税が10%に引き上げられました。食料品等の軽減税率8%と2種類の税率の区分が出来たため、取引の明確をはかるため、インボイス制度(適格請求書保存方式)が設けられることになりました。

2 インボイス制度がはじまると？

会員は今まで通り納税義務はありませんが、会員が免除となる消費税の部分を課税仕入れ等にかかる消費税額として控除することが出来なくなるため、センターに納税の義務が生じてきます。

会員の受け取る配分金に消費税が入っていても納税義務がないのは法律で決められて守られている権利ですので、そこから消費税を差し引くことは高齢者の生きがいを奪いかね

ず、得策ではありません。しかしながら、今まで控除出来ていた配分金に含まれている消費税額を控除出来なくなり、センターにその部分の消費税を支払う義務が発生すると、センターは今までなかった経費をどこからか捻出する必要が生じることになります。

これは全国のシルバー人材センターの大きな問題となっております。

河北新報2022年(令和4年)11月26日(土曜日)版

シルバー人材契約見直し

インボイスでセンター運営困難

発注者と会員 実質締結へ

政府、与党が全国に約1300カ所ある「シルバー人材センター」を介して働く人の契約形態を見直す方向で検討していることが25日、分かった。原則60歳以上に働く場所を提供するセンターは、来年10月にインボイス(適格請求書)制度が導入されると消費税負担が発生し、運営が困難になると指摘されている。センターと会員が契約を結ぶ現行の形態を、仕事の発注者と会員が実質的に結ぶ形態に変更する方向で、センターに新たな税負担は発生しなくなる。

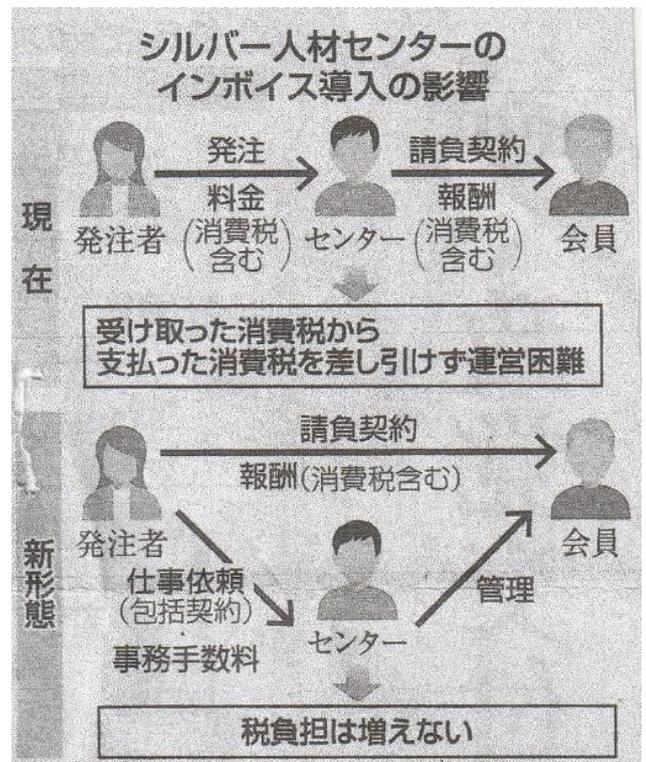
仕事の発注者に対して立場が弱く、不利な取り扱いを受ける恐れがある個人事業主らを保護するため、厚生労働省などが2023年度税制改正とは別に検討してきた。

現行制度では、シルバー人材センターは仕事の発注者である企業や自治体、家庭から業務の依頼を受け、会員と「請け負」「委任」といった契約を結んで仕事を任せている。これを実質的に発注者と会員が契約を結ぶ形に見直す。センターは仕事のマッチングや会員の管理に専念する。見直しが実現すれば消費税の納税義務はセンターから発注者に移る。

新たな税負担を理由に発注者が会員との契約を敬遠しないよう政府は各センターに対し、発注者へ丁寧に説明し、理解を

得るよう求める方針だ。

インボイスは消費税の納税額を計算するため必要な書類で、導入後はこれがないと諸費税を低く抑える「仕入れ税額控除」ができなくなる。センターが導入後も仕入れ税額控除を受けるためには、消費税の納税が免除されている「免税事業者」である会員が、インボイスを発行できる「課税事業者」に転換する必要がある。だが会員に税負担が発生し、現実的ではないとされてきた。



※ シルバー人材センター

高齢者雇用安定法に基づく法人で、企業や自治体、家庭から業務を受注し、原則60歳以上の就労希望者に働く場所を提供する。就労希望者はセンターの会員となり報酬も支払われる。提供される仕事は屋内外清掃や建物管理、一般事務、講師など多岐にわたる。地域活性化も目的とする。2022年3月末時点で全国に1307が設置され、会員数は68万7000人。



麻雀サークル

今年も麻雀を楽ししくやりましたよ！
多くの方の入会を待っています。

謹賀新年
令和五年



友の会の「麻雀サークル」は、最も活発な活動を続けています。毎週金曜日・尾島町集会所1階にて、4月～10月:午前9時～午後4時半/11月～3月:午前9時～午後4時の間行っています。会費は1ヶ月500円です。現在の会員数は佐藤竹男会長以下16名です。もちろんかけマージャンではありません。健全娯楽として会員相互の親睦を深めております。このところ新型コロナの感染拡大防止の観点から自粛しておりますが、例年一泊旅行を開催し一夜の麻雀と紅葉等各地の自然景観を楽しんでいるようです。一度会場を訪れてみてはいかがでしょうか。きっと歓迎してくれますよ！

友の会「旅行会」楽しい思い出がいっぱいありましたね！



令和元年 大塩裏磐梯温泉「塩姫の宿:ホテル観山」:途中五色沼にも立ち寄りました！



平成28年「行者の滝」:ハイルザーム栗駒に行く途中！



平成29年 一の関「矢びつ温泉:瑞泉郷」
狛鼻溪の舟下りも楽しみましたね！

令和5年
新年号

シルバー友の会だより

発行
塩釜シルバー友の会
塩竈市尾島町18-17
Tel 022-367-5940



今年こそ楽しい友の会に

友の会会長 小松幸雄
(二小1班)

明けましておめでとうございます。

新年を迎えまして、塩釜シルバー人材センター友の会会員の皆様におかれましては御健勝のこととご推察申し上げます。

平素より会員の皆様には友の会の事業計画にご理解ご協力を頂きまして厚く御礼申し上げます。

令和2年の初春から始まった新型コロナウイルス感染症は、なかなか終息を迎えることが出来ず、今や第8波の到来かと言われております。

このような状況下ではありますが、昨年7月18日(海の日)の第75回塩竈みなと祭陸上パレードの「よしこの塩竈」に、シルバー人材センター友の会として参加することが出来ました。29名の会員の方々に参加して頂き、忙しい中4回の練習日にも積極的に参加してくれ、本番のパレードではシルバー会員の元気な掛け声と踊りを市民の皆さんにお見せすることが出来た事は大変良かったと思っております。

「ウィズコロナ」という観点から、感染防止対策をしながら「一泊旅行」や「日帰り旅行」の催行について、友の会の役員会を数回にわたり実施

し検討を重ねましたが、第7波のコロナ感染者数が塩竈市をはじめ東北各県で顕著な増加傾向が続いていた為、また高齢者の感染による致死率が比較的高い数値を示していた為、誠に残念ではありましたが今年度も中止することと致しました。

友の会のサークル活動としては、麻雀、カラオケ、パソコンクラブ等、感染防止に留意しながらも活動を継続して来ております。

インフルエンザの季節とコロナ感染が重なり寒さの厳しい日が続いておりますが、友の会会員におかれましては、三密の回避や手の消毒とマスク着用等の感染防止対策をすると共に、就業に際してはくれぐれも事故を起こさないよう安全対策には十分に気を配ってください。

ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射など何かと世情の騒がしい日々ですが、新しい年を迎えこの一年が、友の会会員にとって良い年となるよう願うと共に、今年こそは会員の皆様と共に旅行や懇親会を催行して親睦を深め、楽しい友の会に出来るよう切に願って止みません。



友の会「秋の旅行会」

平成 29.10.16